

2月
赤旗

国内死者6000人超

11日間で1000人増

国内では3日、新型コロナウイルスに感染した死者が新たに78人確認されました。クルーズ船乗船者を含む死者の累計は6000人を超え、6048人となりました。1月23日に5000人を超えてから11日間で1000人増えた形で、死者の増加ペースが加速していくます。

厚生労働省による死者の内訳（1月27日時点）は、80歳以上が全体の61・9%を占め、70代（23・9%）、60代（8・4%）など、順位が多くなりました。死亡率は年齢とともに上昇し、80代以上は11・4%で、70代（4・3%）や60代（1・3%）を大きく上回っています。

国内の死者は2000人から3000人に

なりましたが、その後18日間で4000人を突

破。さらに14日間で5000人を超えて、増加ペースが加速していくま

一方、東京都は3日、新たに676人の感染者が確認されたと発表しました。1日当

たりの感染者数が100人を下回るのは6日連続。都によると、新規感染者の年代別では、20代が129人で最も多く、30代105人、40代96人など。65歳以上は171人。都是基準による重症者は125人で、前日から4人減りました。

ワクチン承認12日にも判断

厚労省

米製薬大手ファイザーの新型コロナウイルスワクチンについて、厚生労働省が12日に専門部会を開き、承認の

可否を判断することを軸に調整していることが2日、関係者への取材で分かりました。専門部会は承認を了承し、厚労省が審査を簡略化できる特例承認を実施する見通し。承認されれば、医療従事者への先行接種を今月中旬から始めたい考えです。